

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 13010030

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1	農業の振興	事業優先度	B		
単位施策	5	農業による地域の活性化	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	農地台帳システム整備事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度		担当課	13	農業委員会	
事業主体	雄武町		関係課	9	産業振興課	
事業指標	土地情報の適切な管理			#N/A		
事業目標	農地台帳システムの整備		ハード/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	有	農地法、農地台帳点検等実施規程	
住民協働	無		関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	農地台帳システムの整備		農地台帳システムの整備 ①台帳システム改修(一式) ②サーバー・クライアント機の 更新整備(一式)			
	事業費(千円)	3,585	0	3,585	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	3,207		3,207		
	地方債	0				
	その他	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,564	0	3,564	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	3,186		3,186		
	その他	0				
	特定財源の名称 農地情報公開システム(農 地台帳システム)整備事業 補助金	【評価・実績】	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) 農地台帳システムの整備 ①台帳システム改修(一式) ②サーバー・クライアント機の 更新整備(一式) ※事務事業評価結果 A-終了	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果
前期計画からの継続	年度目標値		農地台帳システムの整備			
第6期計画への継続	年度達成率	#DIV/0!	99%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	0%	99%	99%	99%	99%
	事業進捗状況		☆☆☆☆			

事業名	農地台帳システム整備事業	評価者 管理職 職氏名	農業委員会事務局長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農業委員会農地係長	花松 賢一

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農地台帳	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	農地台帳システムの整備	
【抱える課題やニーズは】	農地法の改正に伴い、平成27年4月1日から農地台帳の公表が法定化された。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	平成26年度中に農地台帳を整備し、平成27年4月1日から農地台帳を公表する。	① 農地台帳システム改修	目標年度	平成26年度
			目標値	1式
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	農地台帳を公表することにより、農地の有効利用や農地利用集積を図る。	② サーバークライアント機更新	実績値	1式
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	農地台帳システム改修	全国農業会議所が示した全国一律の整備項目どおりに農地台帳の改修を実施した。		
	サーバー・クライアント機更新	老朽化したサーバー・クライアント機を本事業(補助対象)に併せて更新した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	農地法の改正に伴い、平成27年4月1日から農地台帳の公表が法定化されたため、必要な事業である。
必要/概ね必要 /課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	農地台帳システムの整備を実施したことにより、平成27年4月1日から農地台帳を公表することができた。
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	農地台帳の整備項目については、全国一律であり事業費を削減する余地はないものの、サーバー・クライアント機を本事業に併せて更新したことにより、補助金を活用することができた。
		<input type="checkbox"/>	
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	農地台帳の整備・公表については、法律により農業委員会が実施するものであり、公平性は保たれていると判断する。
		<input type="checkbox"/>	
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
農地台帳の整備を計画的に進め、平成27年4月1日から公表できたことにより、今後、農地情報が有効に活用されることが期待できる。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
農地台帳システムの整備が完了したことから、事業終了とする。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止